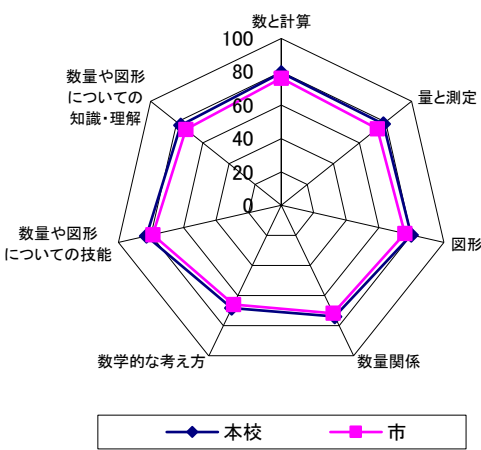


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	79.5	76.2	72.9
	量と測定	78.3	73.6	70.6
	図形	79.9	76.0	72.1
	数量関係	73.9	71.8	66.9
観点別	数学的な考え方	68.2	65.9	58.0
	数量や図形□についての技能	82.9	78.9	76.2
	数量や図形□についての知識・理解	76.9	73.1	70.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○「真分数+真分数＝真分数で、分母どうしをかける通分をする計算ができる」の正答率は89.8%であり、市の正答率を9.2ポイント上回った。 ○「図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を選ぶことができる」の正答率は66.7%であり、市の正答率を7.5ポイント上回った。 ●「問題の場面を理解し、白と黄の球根が縦に4回並ぶわけを説明することができる」の正答率は38.9%であり、市の正答率を1.2ポイント下回った。	・計算ドリルや補充プリントなどを活用し、朝の学習で繰り返し練習したり、家庭学習に活用したりして、今後も力を伸ばしていく。 ・示された数量を関連付けて、根拠を明確にし、順序立てて表現する活動を意識的に取り入れるなどして、考えを整理して表現できるようにする。
量と測定	○「三角形の面積を求める式を選ぶことができる」の正答率は92.6%であり、市の正答率を8.2ポイント上回った。 ○「教室の面積と児童の人数から、1㎡あたりの人数を求める式を選ぶことができる」の正答率は38.9%であり、市の正答率を8.4ポイント上回った。	・長さ、広さ、かさ、重さなどの量感覚を養うため、その実感が得られるよう、具体物を操作する活動等を充実させて指導することで、更なる定着を図る。
図形	○「正六角形の作図方法から、正三角形の1つの内角の大きさと、正六角形の1つの内角の大きさを求めることができる」の正答率は81.5%であり、市の正答率を7.6ポイント上回った。	・6年間のまとめの学習等で図形についての理解をさらに深める。
数量関係	○「反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求めることができる」の正答率は76.9%であり、市の正答率を7.0ポイント上回った。 ●「調べた分量と作りたい分量の割合(比)を読み取り、足りない材料の量を求めることができる」の正答率は27.8%であり、市の正答率を2.0ポイント下回った。	・与えられたいくつかの情報の中から条件に合った資料を適切に選ぶ判断力を養う学習活動を工夫して行っていく。 ・比や割合の考え方を活用する問題に取り組ませたり、日常生活の場面で比や割合を意識させるような機会を持たせたりすることにより定着を図る。